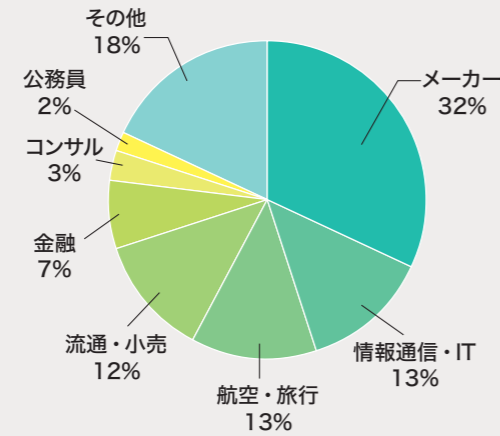


就職状況

本学部の4年間でfacilitator、negotiator、administratorとしての能力を獲得した卒業生が、社会の様々なフィールドで活躍しています。メーカーや商社を含む流通・小売業界、情報通信・IT業界への就職が多いほか、航空・旅行業界を志望する学生も多いのが特徴です。



主な就職先企業・機関

トヨタ自動車、東京エレクトロン、キーエンス、パナソニック、日立製作所、三井物産、伊藤忠商事、豊田通商、ソフトバンク、LINEヤフー、楽天グループ、NTT西日本、日本航空、全日本空輸、シンガポール航空、エミレーツ航空、エバー航空、日本銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、日本放送協会、テレビ朝日、日本経済新聞社、他多数

※企業・機関名は2026年4月時点

詳細はこちら



学部施設紹介



香柏館(こうはくかん)

グローバル・コミュニケーション学部の拠点施設です。自学自習室、セミナールームと所属教員研究室を設置しています。



自学自習室

個人学習ができるブース席のほか、外国語や留学に関する書籍、語学試験などについての参考書が閲覧できる資料閲覧コーナーを設置しています。



プレゼンテーションルーム・グループワークルーム

プレゼンに使用可能なプロジェクターを備えたプレゼンテーションルームや、グループワークルームを設置しています。

受験生・高校生向け特設サイト

GC 学部を 知ろう!



教員や在学生による学部紹介・卒業生からのメッセージ・講義体験まで! さまざまなコンテンツを通して、受験生や高校生のみなさんにGC学部の魅力をお伝えします!

詳細はこちら



入試情報

●英語コースおよび中国語コース

- ▶ 一般選抜入学試験
- ▶ 大学入学共通テストを利用する入学試験
- ▶ 自己推薦入学試験

●日本語コース

- ▶ 外国人留学生入学試験
- ▶ 外国人留学生公募制推薦選抜入学試験

詳細はこちら



同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学部事務室

TEL 0774-65-7491 E-mail jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

Instagramでも
最新の情報を発信中!



交通アクセスはこちら



一般選抜入試に関するお問い合わせ先 入学センター入学課

TEL 075-251-3210 E-mail ji-nyugk@mail.doshisha.ac.jp

外国人留学生入試に関するお問い合わせ先 国際センター留学生課

TEL 075-251-3257 E-mail ji-intad@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学
Doshisha University

Faculty of GLOBAL COMMUNICATIONS

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部



英語コース ENGLISH COURSE

中国語コース CHINESE COURSE

日本語コース JAPANESE COURSE

同志社大学
Doshisha University

Faculty of GLOBAL COMMUNICATIONS

世界へ通じる対話力。

創立以来、「国際主義」を教育理念に掲げてきた同志社大学。その伝統をさらに発展させ、現代のグローバル化した社会に対応した学びの場としてグローバル・コミュニケーション学部は生まれました。変容し続ける国際社会において、ビジネスや政治、文化交流、教育などあらゆるフィールドで活躍できる人物を育てるために、本学部では教養と実践のバランスのとれた学びによって、世界で通用する「対話力」を養成しています。



学部のポイント

実践的な学びを通して身につくコミュニケーション能力

外国語の「話す、聞く、書く、読む」能力を確実に強化するため、少人数クラスを編成し、教員が学生一人ひとりをきめ細かく指導。体系的・段階的なカリキュラムによって、実践的なコミュニケーション能力を身につけます。

英語・中国語コース必修のStudy Abroad

英語コースと中国語コースの全学生は、それぞれの言語圏の大学において1年間のStudy Abroadを体験。現地での学びを通して、極めて高い外国語運用能力の習得と異文化理解の深化を目指します。

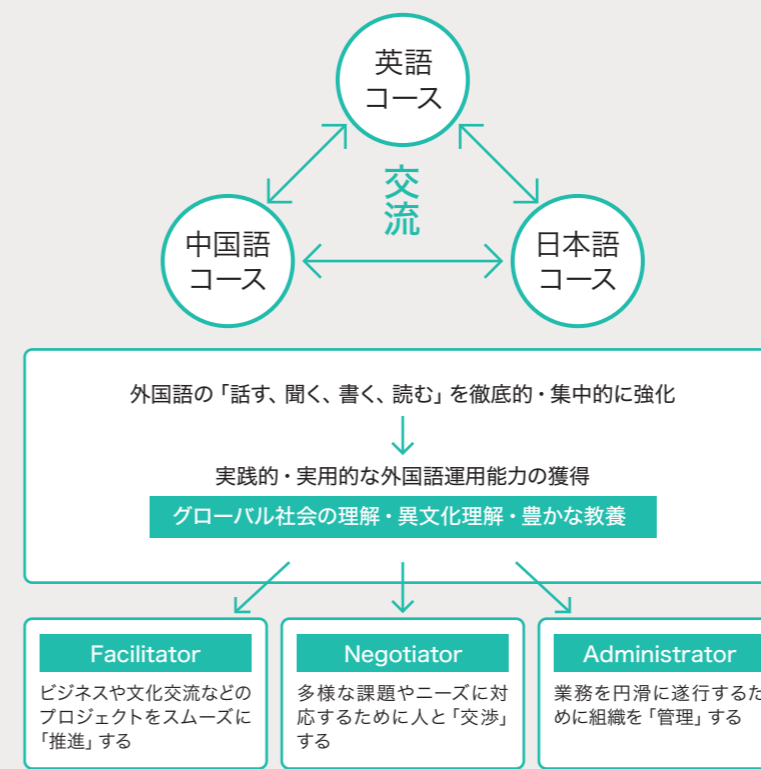
3コース共通必修のSeminar Project

Seminar Projectでは、3つのコースの学生が協力して、国際会議や文化交流などのプロジェクトを企画・立案、運営します。学生が主体となってプロジェクトを遂行することで、社会で通用する実践的なコミュニケーション能力を磨きます。

グローバル・コミュニケーション学部が目指す人材像

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科は、グローバル化した社会に対する幅広い教養と国際的センス、強い自立心と倫理観を身につけると同時に、高度で実践的・実用的外国語運用能力の習得を通して、ビジネス関連の諸分野や国際機関、教育機関、また国際政治や文化交流に係わる非営利事業の諸分野などの国際的舞台上、facilitator、negotiator、administratorとして活躍できる人材を養成することを目指します。

人材養成のイメージ



タンDEM・パートナー制度

英語・中国語コースの学生と、日本語コースの留学生がペアを組み、自分の母語や得意な言語を勉強しているパートナーをサポートする学部独自の制度です。この制度を利用して授業以外でも他コースの学生と交流しながら、より質の高い外国語学習を目指すことが可能です。また、お互いに教え合うことで、学びたい言語はもちろん、慣れ親しんだ母語にも新たな発見があります。



詳細はこちら





4年間の学び Timeline

同志社大学創立以来の教育理念である「国際主義」に基づき、現代のグローバル社会に対応する人物の育成を目指します。英語、中国語、日本語(留学生対象)の3つのコースで、実践的な外国語運用方法に加え、言語の背景となる文化・社会について深く学びます。英語・中国語コースではStudy Abroad(留学)を通して実践力を養い、日本語コースでは少人数教育や体験型学習を通して高度な日本語運用力と異文化理解を深めます。4年間で国際社会に貢献できる力を育てます。

Seminar Project

4年間の学びの総括として全3コースの学生が模擬国際会議や文化交流等のプロジェクトを企画・立案・運営します。英語・中国語・日本語コースの学生がそれぞれの語学力や専門知識を生かしつつ、互いに協力して一つのプロジェクトを完成させていきます。この学部が育成しようとしている、facilitator・negotiator・administratorとしての実践的・総合的能力を、実地での経験を通して身に付けます。

過去のプロジェクトテーマ例

- ・社会問題(人権・ジェンダー・福祉)
- ・異文化理解、国際交流
- ・観光、地域創成、まちづくり
- ・食文化、フードロス
- ・環境、サステナビリティ

1年次

英語力と国際的視野の土台づくり

少人数制クラスで、話す・聞く・書く・読むの4技能を徹底強化。基礎的な演習・講義科目を通して、異文化理解やグローバル社会の課題を学びます。多様な価値観を認識し、様々な視点から自分の考え方を伝えることができるようドイツ語、フランス語、中国語から第二外国語も選択します。

2年次

1年間のStudy Abroadで実践力と国際的な教養を磨く

→ Study Abroad

英語圏の協定大学に1年間Study Abroad(留学)。現地学生とともに正課授業を履修し、異文化環境の中で実践的な英語表現力と専門分野につながる基礎知識を養います。日常生活そのものが学びの場です。

3年次

Study Abroadの成果を発展させ、専門分野へ

帰国後はゼミや専門講義を通して、英語圏の言語・文化・社会を多角的に探究。英語で議論・発表を重ね、論理的思考力と表現力を高めます。

4年次

卒業研究とプロジェクト発信の両輪で、学びの集大成

英語での研究論文執筆とSeminar Projectの成果発信を通じて、教養と実践を統合し、4年間の学びを完成させます。

Seminar Project

英語コース

中国語コース

日本語コース

中国語基礎力と国際理解の土台を築く

少人数制の授業で「会話・講読・リスニング・ライティング」の基本を徹底的に習得。中国語圏の文化・社会についての基礎知識も学びます。

中国語圏での実践力と異文化適応力を磨く

留学の具体的な準備を進めながら、中国語圏に関する知識の深化をはかります。

→ Study Abroad

2年次秋から1年間のStudy Abroad(留学)が必修です。現地大学での授業履修や対話・

Study Abroadの経験を活かし思考・分析力を強化

フィールドワークを通じて、中国語の高度な実践能力を身につけます。

帰国後は専門科目や少人数演習で、より複雑な内容の中国語運用力を深めます。中国語圏の歴史・社会・文化・ビジネスなど幅広い視点で学修します。

研究成果をまとめ、表現力を完成

ゼミやSeminar Projectを通じて、これまでに習得した中国語能力と専門知識を統合し、論理的な発信力へと高めます。

Seminar Project

日本語運用力と論理的思考の基礎を確立

大学・社会生活に必要な日本語運用能力と論理的思考の基礎を習得します。少人数クラスで日本語でのレポート執筆やプレゼンテーションを履修しアカデミックスキルを養います。

日本社会・日本語への理解と課題発見力の習得

多文化社会に向かう日本の現状や日本語型コミュニケーションの特徴を学び、ワークショップなど社会実践的な科目に取り組みます。

「研究」を知ると共に自分の関心を追求する

幅広い選択科目を学びながら、ゼミでは文献講読と議論を繰り返して研究スキルの習得と卒業研究のテーマ決定を目指します。

協働の実践と論理的思考に基づく卒業研究の完成

Seminar Projectでは他コースの学生と共にチームでの実践力を高め、ゼミでは卒業研究のためのデータ収集と分析に挑戦して論文を完成させます。

Seminar Project

世界に広がる学びの場

詳細はこちら



- イギリス
- University of Sussex
 - University of Southampton

- 中国
- 北京大学
 - 復旦大学
 - 上海外国語大学

留学先は 20 大学

- フランス
- Université Paris Cité

- 台湾
- 国立台湾師範大学
 - 東海大学文學院

- 英語コース
- 中国語コース
- 全コース共通

- オーストラリア
- University of Newcastle
 - Deakin University

- ニュージーランド
- Victoria University of Wellington

カナダ

- Brock University
- Vancouver Island University
- University of Guelph
- Acadia University

アメリカ

- University of Utah
- University of Montana
- University of California, Riverside
- University of California, Davis
- Arizona State University

英語コースの学生は●、中国語コースの学生は●の留学先の中から1校選択し、1年間のStudy Abroadを行います。●の留学先は、コース関係なく派遣が可能な学部間協定校となります。

※2026年4月現在

SA体験記

詳細はこちら



Brock University

英語コース S.Yさん

「語学力だけでなく、人間性や精神面でも大きく成長できました。固定観念を見直し、新しい文化や価値観を理解しようとする姿勢の大切さと、すべてを受け入れられなくても、それらを認め尊重することの重要性を学びました。」



北京大学

中国語コース T.Oさん

「海外経験ゼロの私でしたが、北京大学で学んだり、広大な中国国内を旅したりと、新たな発見の毎日でした。そしてその発見が視野を広げ、物の見方を変え、これまでの当たり前が当たり前でないことに気づく—この過程がSAの醍醐味だと思います。」



英語コース ENGLISH COURSE



国境や文化圏を越えたコミュニケーションを体得

ボーダーレス化が進む社会において要求される能力を養成するために、グローバルな水準、専門的には5C's(Communication, Cultures, Connections, Comparisons, Communities)と呼ばれる外国語教育理念に基づいたカリキュラムを組んでいます。facilitator, negotiatorまたはadministratorとして能力を発揮するためには複雑な社会の機能やその背景の文化を学ばなければなりません。1年次では、2年次必修のStudy Abroad(留学)の準備をしながらコミュニケーション理論や世界各地で使用されている英語の多様性について学び、コミュニケーション能力を伸ばします。また、ドイツ語、フランス語、中国語の中から第2外国語をひとつ選択し、週3回の授業を通して集中的に学ぶことで、新たな言語の習得も目指します。3・4年次では海外での経験や学習内容を発展させ、さらに高度なコミュニケーション技能を習得します。

4年間で学べる科目例

ゼミ関係科目

例) Threshold Seminar / Intermediate Seminar / Advanced Seminar / Preparation for Academic Study

4年間の学習計画の設計から専攻分野の探究、学びの深化へ。4年次には3コース共修のプロジェクト科目で実践力を伸ばす

英語スキル系科目

例) Communicative Performance / Progress in Writing / Interpretation / Advanced Communicative Performance

すべて英語で行われる少人数授業などにより4技能(話す、聞く、書く、読む)を徹底的に強化

専門科目

例) World Economy and Business / Intercultural Communication

言語学、文学、国際政治、異文化理解、ビジネスなどの言語、文化、社会をテーマにした幅広い学び

外国語(第二言語)・教養系科目

例) Communicative Skills in German・French・Chinese / 英語科教育法A1

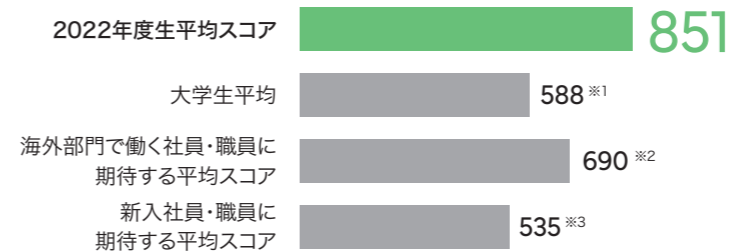
英語以外の外国語の実践的な運用能力を身に付けることや英語教育など多角的な視野を養う

詳しい科目内容は
こちら



資格

TOEIC® LISTENING AND READINGテスト



※1. (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会「TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2023 2022年度受験者数と平均スコア」より
 ※2. (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会「2019年度 新入社員 TOEIC®Listening & Reading 最新データ」より
 ※3. (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会「英語活用実態調査2019(企業・団体)」より

教職課程

中学・高校の英語教員に求められる英語力の目安

- 英検準一級(TOEIC 730点)
 - 英語で授業が展開できる力
- 【参考】『英語が使える日本人』の育成のための行動計画(文部科学省、2003)

次の4つの免許が取得可能です。

- 小学校教諭一種
- 中学校教諭一種(英語)
- 高等学校教諭一種(英語)
- 学校図書館司書教諭

到達目標

TOEFL iBT®テスト 79点相当以上
(TOEFL ITP®テスト 550点相当以上)

TOEIC® LISTENING AND READINGテスト 850点以上

学びの特徴

- ### 1 世界基準の英語教育と5C'sの育成

5C's(外国語教育理念)に基づき、英語力と国際社会における対話力を同時に育む体系的カリキュラムを展開。体系的な学修を通じて、多様な社会で活躍できる力を養います。
- ### 2 2年次必修の1年間のStudy Abroadで実践力を強化

世界各地の英語圏の大学での学びや生活を通して、実践的な語学力と異文化適応力を大きく伸ばすことができます。異文化の中で学ぶ体験が国際人としての基盤を築きます。
- ### 3 多彩なゼミで専門性を深化し、発信力を磨く

Study Abroad後には言語、文化、社会をテーマとする多種多様なゼミ科目から自らの関心に応じて専門分野を選択し、学びを深めます。さらに3コースの学生が共修するSeminar Projectにより国際社会で通じる対話力を強化します。



留学先でのリアルな学びと
温かな交流を通じて成長を実感。
大学での学びを活かし
サービス業で活躍したい。

英語コース 4年

きくに はのん 留学先
菊谷 陽音さん Deakin University

小さな頃から英語に興味があり、「英語で世界の人と交流したい」と考え、海外留学が必修のGC学部に進学しました。入学当初は、流暢に英語を話すクラスメイトに圧倒されることもありましたが、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を磨く授業を通して、留学に必要な基礎力を身につけました。2年次のStudy Abroadが人生で初めての海外経験でしたが、大学授業の履修前に現地の語学学校で準備する機会があり、安心して留学生活を始められました。日常会話

についていけないこともありましたが、「間違えても大丈夫」と励ましてくれるホストファミリーの支えもあり、次第に失敗を恐れず自分の考えを伝えられるようになりました。留学先では、もともと興味があった言語関連の分野以外にもさまざまな授業を履修しました。中でも、ブランドの広報戦略が国や文化間でどのように異なるのかを考察する授業が印象に残っています。自分の意見を論理的に伝えることに苦労しましたが、その経験を通して自分の視野が広がったと感じています。帰国後は、言語学のゼミに所属し、若者言葉の用法について関心を抱いています。ゼミでのディスカッションの盛り上がり、留学を通じた自身や周囲の成長を実感しています。GC学部での学びを通して、人と人との関わりが生み出す価値を強く感じています。卒業後はホテル業界に就職し、お客様の幸福感を少しでも高められるような仕事に携わりたいと考えています。

中国語コース CHINESE COURSE



中国語を通して世界とつながる新しい視点を育む

地球規模で展開する中国語圏への架け橋となる中国語スキルと異文化への理解力を養います。華人社会はグローバルということばが常用されるようになる以前から、地球規模で展開してきました。現在では、中華人民共和国、台湾、香港、マカオ、シンガポールはいうにおよばず、北米、ヨーロッパ、東南アジア、アフリカ、オセアニア、日本など世界の多くの国や地域に華人コミュニティが存在します。つまり、中国語は英語とはまた違った意味で、非常にグローバルな言語のひとつなのです。英語や日本語のみならず中国語の眼を通して世界を見ることによって、グローバル化した現代社会の諸問題に対応する手段がひとつ増えることは間違いありません。中国語コースでは、少人数クラスによって集中的に基礎を身につけた後、1年間のStudy Abroad(留学)によって中国語の高度な総合的運用能力の習得および異文化理解の深化を目指します。

到達目標 中国語検定 **2級** | 漢語水平考試(HSK) **6級**

学びの特徴

- 1** 少人数制による徹底した基礎力養成と4技能の体系的習得

入学直後から10~20名規模の少人数クラスで、発音・会話・読解・作文の4技能を一年半かけて段階的に鍛えます。反復練習を重視した密度の高い授業により、日本語話者の漢字知識という利点も活かしながら、日常から学術・専門場面まで支え得る運用基盤を確立します。
- 2** 1年間のStudy Abroadによる実践的飛躍

2年次秋学期からの1年間のStudy Abroadでは、現地大学での学びと生活を通して実践的中国語力を飛躍的に高めます。同時に、中国語話者の思考様式や論理展開、社会・文化的背景を体得し、言語を「使う力」と「理解する力」を統合的に深化させます。
- 3** 帰国後の上級科目と講義群による専門的深化と持続的学習力の涵養

帰国後は、会話・講読・作文・検定試験対策などの上級中国語科目で運用力をさらに高度化します。加えて、「グローバル論」「異文化間交渉論」「中国語論」などの多様な講義群を通じて、中国語圏の社会・文化・政治・経済への理解を体系的に深化させます。言語運用能力と専門的分析力を融合させるとともに、卒業後も自律的に学び続けられる方法と習慣を身につけます。

4年間で学べる科目例

ゼミ関係科目

例)基礎演習1~3 / 専門演習1~3

4年間の学びの土台作りから専門分野の探究、卒業研究へとつながる高度な学修まで実践的に展開

中国語スキル系科目

例)基幹中国語(会話/講読/リスニング/ライティング) / 基幹中国語応用1~3

ネイティブ教員による少人数クラスで、「聞く・話す・読む・書く」4技能を基礎から着実にレベルアップ。「使える中国語」を身につける

応用中国語科目

例)中国語コミュニケーション1・2 / 中国語速読技法 / 発信型日本語

国際場面やビジネスの現場でも通用する実社会で求められる中国語表現力を養成

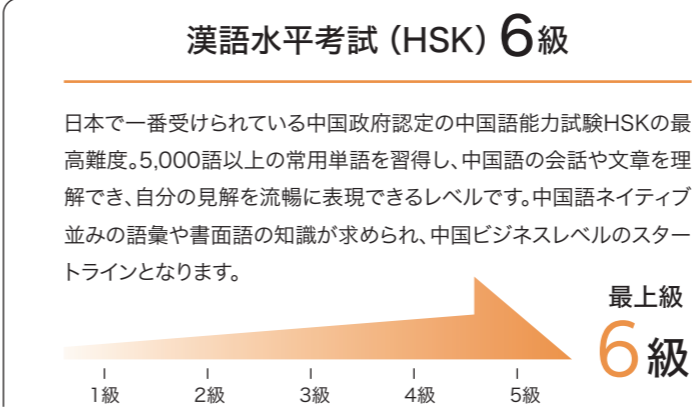
専門科目

例)通訳の理論と実践1・2 / コンテンポラリー・チャイニーズ論 / 中国語圏の政治事情

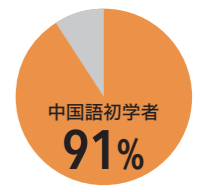
言語・文化・政治経済・社会問題・通訳など、中国語圏を多角的に理解するための専門領域を体系的に学修



資格

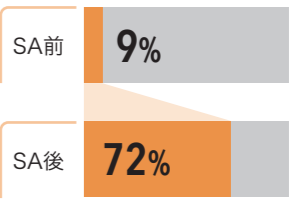


入学時はほとんどの学生が**初学者**



SAの前後での**HSK6級**取得者数 (満点の6割以上のスコアを獲得)

(2022年度生)



多様な価値観を持つ仲間と率直に話し合った経験が大きな自信に。行動力と実践的なコミュニケーション力が磨かれました。

中国語コース 4年

にしむら 西村 | ももこ 桃子さん | 留学先 上海外国語大学

幼少期に中国に住んでいたことがあり、文化や音楽に親しみを感じていました。「将来のために英語だけではなく中国語を習得したい」と考え、留学を経験して内気な性格を変えたいという思いもあり、GC学部への進学を決めました。中国語コースでは、基礎から応用まで段階的に中国語運用能力を高めるカリキュラムが整っているのですが、私は応用クラスに配属され、当初は授業のレベルの高さに驚きました。予習を徹底し、先生の丁寧な指導のもと繰り返し練習する

ことで、留学前の目標だった HSK6 級を取得できました。上海への Study Abroad が始まった当初は外国人ルームメイトとの生活習慣の違いに悩み、現地の表現についてもいけず引きこもりがちでした。しかし、「このままではいけない」と気づき、ルームメイトと率直に話すことを心がけたほか、授業で伝えられなかったことをノートにまとめて後日先生に質問するなど工夫を重ね、少しずつ意見を伝えられるようになりました。語学パートナー制度で現地の学生と母語を教え合ったり、地元の食堂に行ったことも、生きた中国語を学ぶ貴重な機会でした。留学生活を通して、異なる背景の人々と関係を築く力が磨かれました。卒業後は学んだことを活かし、日本の魅力を世界に伝えられる仕事に就きたいです。

日本語コース

JAPANESE COURSE

詳細は
こちら



日本社会に参画し活躍するための実践力を養う

外国人留学生を対象に、彼らが「グローバル日本社会」を生き抜くために必要な日本の「ことば」「文化」「社会」を多面的に学びます。徹底した少人数編成で、多文化・多言語化する日本社会の職場や大学院で広く活躍するための能力を身につけます。日本語コースには英語、中国語コースのようなStudy Abroadはありません。その代わりに、「日本の社会実習」「ワークショップ現代日本社会」など日本社会への参画を意識した科目群があり、企業や官公庁等に所属する外部講師が担当する課題解決型のワークショップ形式の授業を展開しています。このほか、インターンシップやボランティアなどの課外活動に積極的に取り組んで、日本社会で活躍できるようになることを目指しています。演習系の科目では、日本語・日本文化・日本社会に関わる幅広い研究の文献講読に取り組み、研究計画や分析方法に関する体系的な知識や具体的な作業も学びます。最終学年では、日本の多様な社会問題や外国人が遭遇するコミュニケーション問題を、自分なりの研究課題としてアカデミックな視点で取り上げ、データ収集と分析を経て、論文を完成させます。

到達目標

J.TEST
実用日本語検定

準A級 レベル

BJT
ビジネス日本語能力テスト **J1** レベル

学びの特徴

1 日本語と英語の運用能力の向上を図り、グローバル社会での活躍へ備える



日本語と英語は、レベルに応じた体系的なカリキュラムで学び、グローバル化する日本社会に対応できる実践的・実用的な外国語運用能力を養います。そのうえで、日本社会で遭遇するかもしれないコミュニケーションの様々な問題に意欲的に対処できる力を身につけます。

2 企業や地域社会等との連携を強化



日本社会を体験する公共施設や地元企業等での実習の他に、企業や地域社会等からの外部講師による、課題解決型のワークショップ形式の授業が必修科目として加わります。また、少人数クラスのメリットを生かし、学内外での課外活動への参加をサポート・フォローアップする体制も整えます。

3 国内学生との共修



学部共通科目(Introduction to Global CommunicationやSeminar Project)に加え、各コースの科目にも留学生と国内学生(日本の高等学校までの教育課程を修了した学生)との共修環境が広がります。また、留学生と国内学生で語学を学び合う「タンDEM・パートナー制度」という課外活動も毎年実施され、多くの学生が参加しています。

4年間で学べる科目例

ゼミ関係科目

例)ファーストイヤーセミナー / 応用演習1・2 / 専門演習1・2

読解・批判的思考から研究計画、論文執筆まで段階的に深める。4年次は全員が専門演習で実践的な研究・発表に取り組む

日本語スキル系科目

例)アカデミックライティング1・2 / プレゼンテーション1・2 / クリティカルリーディング1・2

学術日本語の4技能を強化する実践的な演習科目

専門科目

(文化・社会・ビジネス・言語)

例)日本のマンガとアニメ / 京都市 / ビジネス日本語1・2 / グローバル化と日本企業

日本語・日本文化・社会・異文化・ビジネス・言語学・日本語教育など、幅広い領域を日本語で学び、専門的理解と実践力を養う

実習系科目

例)日本の社会実習A / 日本の社会実習B

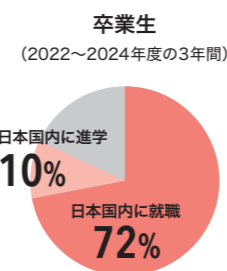
官公庁・企業等を訪問し、日本社会を体験的に理解する

詳しい
科目内容は
こちら

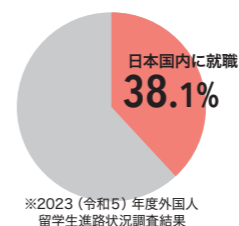


就職・進学

国内就職希望者の
ほぼ全員、
卒業生の**7割以上**が
日本国内で就職



全国平均
(2023年度)



※2023 (令和5) 年度外国人留学生進路状況調査結果

これまでの主な就職先

旭化成 / 三菱電機 / ニトリ / 楽天グループ / ソニーグローバルソリューションズ / ファミリーマート / アクセンチュア / ルイ・ヴィトン ジャパン

※企業・機関名は2026年4月時点

進学卒業生の約**1割**が、
日本語学・日本学分野の国内外の
大学院へ進学

これまでの主な進学先

東京大学大学院総合文化研究科
大阪大学大学院人文学研究科
西江大学大学院新聞放送学科 (韓国)
高麗大学大学院 (韓国)
香港中文大学大学院 (香港)

授業を通じて日本社会を支える仕組みを体感。
日本独自の「おもてなしの心」を世界に広めたい。

日本語コース 4年

ソジェヒョン
徐在亨さん



父の仕事の関係で、幼い頃から何度も日本を訪れていました。ホテルで受けた細やかなサービスがとても印象に残っており、「将来は日本のホテルで働きたい」と考えるようになりました。高校1年から日本語を学び始め、語学と文化を深く学びたいとの思いから、同志社大学 GC 学部への留学を決めました。入学当初は勉強したはずの日本語が半分も聞き取れず、関西弁にも戸惑いました。しかし、先生のわかりやすい日本語に触れ、GC 学部で様々な国の友人と共に学ぶうちに、上達を実感できるようになりました。2年生からは、授業の一環で地域のリサイクルセンターや旅館を訪れ、日本の街を支える仕組みや「おもてなし」の考え方を学びました。さらに、京都のラグジュアリーホテルでアルバイトを始めてからは、日本語はもちろん英語についても実践的な会話力が飛躍的に向上しました。日本で働くなら英語力も必要だと痛感し、大学の交換留学制度を利用してアメリカのネブラスカ大学カーニー校への留学も経験しました。2ヶ国での留学生活で世界中の人々と交流し、それぞれの国々に抱いていた固定的なイメージに捉われることなく人間関係を築けるようになり、視野を大きく広げることができました。卒業後はホテル業界で日本のおもてなしの精神を身に付け、それを生かして韓国やその他の国でもグローバルに働きたいと考えています。